

自由民主党国土強靱化総合調査会レポート NO.27

自由民主党国土強靱化総合調査会（会長：二階 俊博衆議院議員）の第二十七回会合が下記の通り開催されましたのでご報告致します。

1. 日 時 平成 24 年 4 月 26 日（木）10:30～11:30

2. 場 所 党本部 704 号室

3. 参加者 二階俊博会長、大島理森顧問、町村信孝顧問、林幹雄筆頭副会長、金子一義副会長、金田勝年副会長、宮腰光寛副会長、佐藤信秋副会長、福井照事務総長、平井たくや常任幹事、小野寺五典常任幹事、山田俊男常任幹事、菅原一秀常任幹事、望月義夫常任幹事、今津寛常任幹事、竹本直一常任幹事、逢沢一郎、伊東良孝、石田真敏、衛藤征士郎、加藤勝信、梶山弘志、河村建夫、木村太郎、城内実、北村茂男、北村誠吾、塩谷立、新藤義孝、谷川弥一、平沢勝栄、山口俊一、山本幸三、岩城光英、大江康弘、岡田直樹、岡田広、片山さつき、岸信夫、北川イツセイ、熊谷大、小坂憲次、高階恵美子、谷川秀善、中原八一、中村博彦、長谷川岳、松下新平、山谷えり子、山本順三、若林健太（順不同）

代理参加 古賀誠顧問、三ッ矢憲生副会長、鶴保庸介副会長、脇雅史副会長、橘慶一郎幹事、井上信治、伊藤達也、河井克行、近藤三津枝、坂本哲志、棚橋泰文、永岡桂子、松本純、森山裕、山本公一、有村治子、猪口邦子、金子原二郎、末松信介、世耕弘成、野上浩太郎、福岡資麿、藤川政人、古川俊治、松村祥史、松村龍二、山崎正昭、渡辺猛之（順不同）

4. 議 題 「国土の強靱化とは」
（講師）キャスター みのもんた 氏

5. 講演要旨

- ① 戦後の日本の政治の世界は自民党一色のイメージであり、自民党が戦後の日本を創ってきたと思っている。数年前に民主党などが出てきたが、自分の世代は日本＝自民党であり、自民党主導で法律ができた。自民党がこれからどういう法律を作るか興味がある。
- ② 例えば、我々は花が咲いている一番いい時しか見ない。そうではなく、蕾から枯れて散るまで花と接するのがよい。桜は「咲いた」「散った」と言うが、梅の花が咲く時は「ほころび始めた」、散る時は「こぼれる」と言う。昔の人は咲き始めから散って枯れるまで

じっくり観察する余裕があった。法律についても、つくられてから、世の中に法律が合わなくなって変えるまで、しっかり接して頂きたい。それが日本を強靱な体質にする一番の基となる。

- ③ テレビにおいて、「島を買えばいいじゃないか」と発言したところ、「日本固有の領土を買うとは何事だ」と抗議を受けた。「固有の」という気持ちを持っていなかった。しゃべる商売をしていると、目先のことで話してしまう。法律をつくる皆様も、目先の話にならないよう、取り組んで頂きたい。
- ④ アヤメの花が枯れるとき、昔の人は「しおれる」というきれいな日本語を使った。必ずそういう時が来る。戦後 60 年、今の日本の存在を支えてきたのは法律を作る立場の皆様が良い法律を作ってくれたからだと思う。その法律がどう推移していくのか、絶えず考えながら責任をもってやって頂きたい。
- ⑤ 民主党政権は大飯原発を稼働させるかどうかの議論をしているが、それを見ていると日本の国力は衰退していくと思った。日本は放射能に汚染された場合にそれをコントロールする技術やノウハウを持っていない。それなのに原子力発電所を造るのは間違いだと思う。法律を作る立場の皆様にもよく考えて頂きたい。
- ⑥ 少子高齢化で国力が衰えるなか、目の前にある一番の問題は、年金、社会保障、そして原発である。発電が 100%安全だったら大いに供給してほしいが、活断層や南海トラフの問題がある。国家公務員及び議員の給与や議員年金よりも、これからの日本がどういう法律を作ってコントロールしていかなければいけないのか真剣に考えて頂きたい。
- ⑦ 沖縄の基地の問題もある。岡田副総理から今度の主力戦闘機が 1 機あたり百億円くらいすると聞いた。購入する理由を聞いたら、日本の空の守りはどうするのかと言われた。日米安全保障条約では守ってもらえないのか。また、海兵隊の起源は、基地を持たずに移動しながら作戦を行い、一つの場所に留まらないことだそうだ。それならば海兵隊の基地はいらないのではないのか、テントを張って移動すればよいのではないのか。そういう疑問点がたくさんある。
- ⑧ TPP に参加するかどうかで大変な騒ぎになっているが、日本のボールが潮の流れに乗ってアメリカ太平洋岸の島に流れ着いたというニュースを見た。太平洋を挟んでたくさんの国が位置している。そのたくさんの国とどういう関わりを持ったらいいのか、そういう観点から TPP の参画のあり方を考えて頂きたい。それも日本を強い国にする 1 つの重要な道じゃないかと思う。
- ⑨ 太平洋戦争において、もう少し早く適切な判断を下していれば、昭和 20 年 3 月から 8 月

9日までの5カ月と2週間で何十万人もの人が犠牲にならなくて済んだのではないかと思う。それが政治であり、日本を守り素晴らしい国にするのが皆様であり、皆様しかできない。それは皆様が法律を作ることができる立場にいるからであり、是非、素晴らしい法律を作ることに命をかけて頂きたい。そうすれば日本の素晴らしい未来が開けると思う。

6. 主な意見

- ・ 今、日本の力が損なわれていると感じているが、その根本には一時的にアメリカに占領されたことがある。戦後はその流れに乗っており、経済が厳しい中でそれが露呈していると思うが、日本の戦後のあり方についてどのようにお考えか。
- ・ 戦後、自民党が形作った日本の中で、花を愛でるといった心のおおらかさや余裕を無くしてしまったのはどの地点だったのか。国土を強靱化させるより都市機能を強化させるといった短絡的な考え方になっている。
- ・ 一つの方向性を出す時に、コメンテーターの方々には両論を聞きたい。国土を強靱化するためには、国民に正確な情報を提供することが大前提であり、情報を提供するのがマスメディアの責任であり使命でもある。正確な情報をバランスよく配置することが重要。
- ・ 原発を止めれば、3兆6千億円余分に金を払う必要がある。それにより貿易収支と経常収支が赤字になり、イタリア並みの金利7.3%を覚悟しなければならない。42兆円の税収で、それだけの利息を払う覚悟で反対しなければならない。また、福島第2原発は事故にあっておらず、技術を結集すれば事故を防げるのではないか。何かに反対する時には、デメリットも同時に放送し、公平な判断の下で政治をさせて頂きたい。決してポピュリズムにならないようにして頂きたい。
- ・ 自民党の足りないところがあったら教えて頂きたい。
- ・ 政権担当能力の有無、あるいは政治主導の有無について、メディアの判断基準を教えて頂きたい。

7. みのもんだ 講師の主な著書

- ・ 「こころの案内図」(朝日出版社)
- ・ 「みのもんだ十八番勝負」(日本テレビ放送網)
- ・ 「それでも僕は立ち続ける」(日本テレビ放送網)
- ・ 「腰痛スッキリ！」(角川書店)
- ・ 「義理と人情」(幻冬舎) 等

8. 今後の予定

- 日 時 5月23日(水) 午前8時～
- 場 所 党本部 707号室
- 議 題 「日本の課題について」
講師：全国青色申告会総連合専務理事 山本 幸治 氏
「34.4mショックを受けて地元首長としての想い」
講師：黒潮町長 大西 勝也 氏

- 日 時 5月29日(火) 午前8時～
- 場 所 党本部 707号室
- 議 題 「国土の強靱化とは」
講師：NHK解説副委員長 山崎 登 氏

※ご意見送付先

【事務局】自由民主党政務調査会

国土強靱化総合調査会 担当

TEL：03-3581-6211

(内線5425)

FAX：03-3581-6700

E-MAIL：kokudo-kyojinka@mail.jimin.jp

以 上